1. 輸送の安全に関する基本的な方針

会社組織を構築し、物流サービスを通じて常にお客様の繁栄に寄与し、社員の健康と幸福を願い、企業の発展を基に地域社会に貢献する。

2. 輸送の安全に関する目標および当該目標の達成状況

2025年度（被害事故を除く）
・追突事故…5件
・逆突事故…11件
・接触事故…42件
・衝突事故…6件
・その他…2件
・合計66件（前年の目標件数41件）

2026年度 重点目標の設定（被害事故を除く）
・交通事故‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　47件
・行政処分‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　0件
・商品事故‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　112件(配送＝82件・構内＝30件)

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

2024年度自動車事故報告規則により報告した事故は1件ありました。行政処分については、1件（貨物自動車運送事業法第17条第3項にて）あり、処分としては輸送施設の使用停止処分（30日車）となりました。
改善方法として全体会議で「違反内容の詳細説明及び改善方法について」を書面にて行いました。

4. 輸送の安全に関する組織体制および指揮命令系統

体制（安全管理体制組織図）にて

5. 輸送の安全に関する重点施策等

1　輸送の安全確保が最も重要であることを徹底させる
2　コンプライアンスを基本とした関係法令及び運行管理規定の遵守
3　輸送の安全に関する計画の設定と社内外の研修（年2回）の実施
4　年2回の社内監査による法令遵守、運行管理教育活動の指導及び是正
5　指導及び監督の年間計画表（年間教育12項目）より乗務員への教育を行う
　（eラーニングを使用し進捗状況の確認を本社にて行う）
6　運行計画表及び運行実績表の精度を向上させ、適正な車両台数、人員を配置する
7　点呼実施者のリスト一覧を作成し、点呼内容の充実と向上を図る
8　新人乗務員への社内教育及び側乗教育の確実な実施
9　管理者によるドライブレコーダー映像確認及び指導の記録保持

6. 輸送の安全に関する計画（2026年度（60期））

第一四半期（9月21日～12月20日）
外部講師による安全講習会（損害保険会社主催）
社内監査（運営推進部にて）
外部講師による安全講習会（冷凍機）
安全講座⑨…運転者の運転適性に応じた安全運転
安全講座⑩…交通事故に係る運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法
安全講座⑪…健康管理の重要性

第二四半期（12月21日～3月20日）
施設及び不正改造パトロール
配送・品質パトロール

安全講座⑫…安全性の向上を図るための措置を備えるトラックの適切な運転方法
安全講座①…トラックを運転する場合の心構え
安全講座②…トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項

第三四半期（3月21日～6月20日）
外部講師による安全講習会（損害保険会社主催）
社内監査（運営推進部にて）
外部講師による安全講習会（テールゲートリフター）
安全講座③…トラックの構造上の特性
安全講座④…貨物の正しい積載方法
安全講座⑤…過積載の危険性

第四四半期（6月21日～9月20日）
施設及び不正改造パトロール
配送・品質パトロール
安全講座⑥…危険物を運搬する場合に留意すべき事項
安全講座⑦…適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況
安全講座⑧…危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

※2026年度（60期）より各営業所の交通事故に対して、本社としてフォローアップ面談に立ち合いを開始しています。

6. 輸送の安全に関する投資として

・デジタルタコグラフ+ドライブレコーダー及びバックカメラを全車（236台）導入済み（2025年9月21日時点）
・ETC2.0導入により渋滞情報や、安全支援（落下物注意等）、災害時支援（地震等）に対応する
・全新型車両へのPCS（プリクラッシュシステム、追突防止装置）やASV(先進安全自動車)システムの導入
・車輌仕様を改廃し、標準化と平均化を推進及び新長期基準車への代替え計画
・毎年3月に新車の先進安全装置の確認及び導入について検討する

7. 事故、災害時に関する報告連絡体制

体制（事故・災害発生時報告連絡体制図）にて

8. 安全統括管理者、安全管理規程

安全管理規定にて